

「MiFish 法に係る誤同定チェックシート」について

2021 年 6 月

(1) MiFish 法による解析で生じる誤同定について

- ・ MiFish 法による網羅的解析では、以下の 3 つの理由から誤同定が生じる可能性があります。
- ・ より正確な結果を得るためには、同定結果を「精査」することが重要です。

MiFish 解析で誤同定が生じる主な要因

- ① 公共 DNA データベースの登録情報が間違っている可能性がある(魚類分類学の進展により、登録された種の学名が変更され、登録時と現時点で学名に相違があるもの等を含む)。
- ② MiFish 法で用いる配列情報では、種レベルの識別が難しい分類群がある。
- ③ 雑種個体が生息している可能性があり、ミトコンドリア DNA を対象とした分析 (MiFish 法による解析を含む) では、正確な種同定ができない。

(2) 「MiFish 法に係る誤同定チェックシート」について

- ・ 環境省では、公共 DNA データベースに登録されている MiFish 領域の情報を収集し、(1)①～③の情報を整理しました。
- ・ それらの情報に基づき、分析結果の精査を行えるよう、「MiFish 法に係る誤同定チェックシート」を整備しました。

(3) チェックシートの入手方法

- ・ チェックシートの詳細は「環境 DNA 分析技術を用いた淡水魚類調査手法の手引き」第 2 版の「参考資料 8」をご参照下さい。
- ・ チェックシートの入手を希望される方は、以下のメールアドレス宛てにご連絡下さい。

【連絡先】 環境省自然環境局生物多様性センター
メールアドレス: edna_biodic@env.go.jp
件名: (環境 DNA) チェックシート入手希望

(2021 年 7 月メールアドレス修正)